

西日本支社入札監視委員会定例会議議事概要

- 1 開催日 令和5年3月6日(月)
- 2 場所 独立行政法人都市再生機構西日本支社 2階会議室
- 3 入札監視委員会
[委員長]
村上 久徳(弁護士)
[委員]
西尾 宇一郎(大学院教授)
佐野 潤一(大学名誉教授)
竹林 幹雄(大学院教授)
- 4 審議対象期間 令和4年8月1日～令和4年11月30日

5 抽出件数

入札方式			抽出件数
工事	①	1者応札・1者応募の契約	0件(0件)
	②	落札率が高い(95%以上)契約	1件(0件)
	③	一定の関係を有するものとして情報公開対象法人との契約	1件(0件)
	④	指名競争入札	1件(1件)
	⑤	入札方式に係らない抽出(随意契約含む。)	1件(1件)
業務等	⑥	1者応札・1者応募の契約	1件(1件)
	⑦	落札率が高い(95%以上)契約	1件(1件)
	⑧	一定の関係を有するものとして情報公開対象法人との契約	1件(0件)
抽出件数(計)			7件(4件)

(注) 抽出件数の()書は、事務所(独立行政法人都市再生機構会計実施細則(平成16年独立行政法人都市再生機構達95号)第2条第7号に定める「事務所」をいう。)の分任契約担当役の発注で内数である。

- 6 委員からの意見・質問、それに対する回答
個別抽出事案の審議内容は別紙のとおり。
- 7 委員会による意見の具申又は勧告の内容
特になし

以上

別紙

	質問・意見	回答
②	<p>04-釈尊寺第二団地窓建具改修工事</p> <p>落札率が高い要因として資材高騰、窓建具改修工事の件数が少ないこととなっているが、これだけの要因で落札率が高くなるとは思われない。</p>	<p>建設（マンション）業界は活況でサッシメーカーは引き合いが強いこと、コロナ禍など不安定な社会情勢の要因と合わせて、本工事は今年度から始まった工事であり、入札参加者には不確定要素が大きく、工事価格が高止まりになったと思われる。</p>
③	<p>04-アルビス寺本外1団地給水施設改良工事</p> <p>工事場所が離れた団地の組合せとなっているのは、同時期に改良工事が必要となったからと考えてよいか。</p> <p>1団地ごとに工事を行ったほうが、工事費が安くなるということはないのか。</p> <p>市水道管に直結化しない場合、災害時に受水槽にある水が利用可能となるが、直結化することで仮に水道本管が破損すると断水となってしまうことも考えられる。</p>	<p>その通りである。</p> <p>1団地ごとの工事発注ではその都度経費等も掛かってしまうので、比較的同じエリアの団地を組み合わせたほうが効率的であると考えている。</p> <p>受水槽の維持管理に係る費用の低減を図りつつ、より衛生的な水を供給するために直結増圧化工事を実施している。 災害対応上の観点からのご意見として伺っておく。</p>
④	<p>【URコミュニティ本社】04-中宮第3団地（第3工区）污水管渠修繕工事</p> <p>15者指名して11者辞退、入札参加者4者の価格も幅があるが、予定価格が高過ぎるのではないか。</p> <p>低入札になるのは、市場価格と乖離した古い積算基準を用いて積算しているからとも考えられる。また、受注意欲が働いたものとも考えられるが、常に市場価格を意識して積算基準の見直し等行わないと、無理して低価格で落札させ、業者を苦しめることにもなり兼ねない。</p>	<p>予定価格はURの積算基準に基づき算出しており、問題はないと考えている。</p> <p>ご意見として伺っておく。</p>

<p>⑤</p>	<p>【URコミュニティ本社】04-サンヴァリエ春日丘外1団地共用灯LED化その他工事</p> <p>本入札以外の入札も含めて、指名競争入札においては15者指名して入札参加者は4、5者となっているが、その理由は。</p>	<p>指名された時期により、指名業者の手持ち工事が多い、配置技術者等の人員が足りないといった理由から辞退が多いものと思われる。</p>
<p>⑥</p>	<p>西日本支社保有資産を活用した新規事業検討支援業務（新規事業検討会等開催その1）</p> <p>類似の業務においても同じ関連会社の1者応募となっているようであるので、公募するコストも考慮し、競争化せずに随意契約したほうがいいのではないか。</p> <p>その2業務も発注するのか。</p>	<p>ご意見として伺っておく。</p> <p>本件は、企画提案競技方式により受注者を決定しており、受注者からの企画提案内容に基づき、その2業務も契約済である。</p>
<p>⑦</p>	<p>【URコミュニティ本社】04-伝法団地他3団地屋根防水修繕工事等設計業務</p> <p>高落札率となった要因として予定価格が推測しやすいことをあげているが、入札者2者の金額にかなり乖離があることから、説得力が弱いように思われる。</p>	<p>想定業務量の目安として、予め人工数を公表しているため、予定価格はある程度推測できる。建設コンサルタント業界においては、技術者不足等により、多くの業務量を一度に抱えることはできないため、2者の入札金額の差は受注意欲の差と思われる。</p>
<p>⑧</p>	<p>令和4年度西日本支社什器等の購入</p> <p>意見等なし</p>	